科目	目名	構造・	生能学		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	务に6年、板金・塗	装業務に4年間	従事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実打	支:	
時間	引数	90時間		週時間数		9時	間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			,				
使用	使用教材 3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジー 授業外学習 の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			ル・エンジン、3級	自動車シャシ				
		テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと						
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	ガソリンエンジン総論		内燃機関の概論	ⅰ分類・作動方式	式・燃焼方式・バ	ルブタイミング		
	2	エンジン本体		ガソリンエンジン	の概要・構造・機	養能			
	3	潤滑装置		オイルの循環・柞	構造∙機能				
	4	冷却装置		冷却装置の概要・構造・機能					
	5	燃料装置		インジェクタ・ポンプの概要・構造・機能					
	6	シャシ総論		原理と性能・構成	战•安全装置				
授	7	動力伝達装置		クラッチ・ミッショ	ン等の動力伝達	装置の概要・構			
業計	8	アクスル・サスペンション・ステア	リング装置	スプリング・ション	, クアブソーバ・ <i>フ</i>		要・構造・機能		
画	9	ホイール・タイヤ・ブレーキ装置		ホイール・タイヤ	・ディスクブレー	キ・ドラムブレー	キの概要・構造・	機能	
前 期	10	フレーム・ボディー		フレーム・ボディ	 一の概要•構造·	·機能			
	11								
	12								
	13								
	14								
_	15								
	16								
履修上(の留意点	が95%に満たない場合は、期	+=4 EA O TI EA	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施

科目	1名	構造・	性能学		指導担	当者名	鈴木	友二	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間	従事	実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	望:	実打	 支:	
時間	『数	18時間		週時間数		9時	間		
学習到	達目標	二級自動車整備士資格取得を自動車整備基礎技術取得を目	目指す 指す	目指す					
時間数 18時間 週時間数 9時間 9時間 9時間 18時間 29時間 18時間 29時間 18時間 29時間 18時間 29時間 18時間 29時間 29									
学習到達目標 - : - : - i : ski		テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと						
学期	ターム	項目							
	1	ジーゼルエンジン総論・エンジン	本体				ルブタイミング		
	2	燃料装置		インジェクション	ポンプの種類・樟	造・機能			
	3								
	4								
	5								
	6								
授	7								
計	8								
	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率 対面授	〔 が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	- 末試験の受験 併用実施	資格を与えない	\				

科目	1名	力学	·数学		指導担	当者名	山本	巧
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科	1年
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	≌:	実	支:
時間	引数	18時間		週時間数		9時	宇間	
学習到	達目標	自動車整備士に必要な基礎的な	⋷計算が出来るよ	うになる				
評価評価	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点	う為の課題提出) 気満点で点数化し	て総合評価する				
使用		基礎自動車工学・補助プリント						
授業を	↑学習 5法 	テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと					
学期	ターム	項目		内容・準備資料等				
	1	基礎知識		単位・単位の変打	奐			
	2	基礎的な原理・法則		変速比、トルク、	回転数			
	3							
	4							
	5							
	6							
授 業	7							
計	8							
画	9							
後 期	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	1名	電気・電	子理論		指導担	当者名	山本	巧		
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	祭に6年、板金・塗	装業務に4年間	従事	実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科1	年		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実技	支:		
時間	引数	36時間		週時間数		5.4	時間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5					
使用	教材	3級自動車ガソリン・エンジン								
授業を		テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと							
学期	ターム	項目			内容・準備資料等					
	1	電気・電子の概要		電気と磁気・電子						
	2	電気・電子の概要		電気と磁気・電流の三作用						
	3	電気・電子の概要		電気と磁気・電源	原と起電力					
	4	電流の種類		直流と交流						
	5	接続の種類		直列接続と並列	接続					
	6	基礎知識		電圧降下						
授業	7	基礎知識		電力及び電力量	<u> </u>					
授 業 計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
¹⁰ 履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施										

科目	1名	材料	1学		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	8に6年、板金・塗	装業務に4年間	 送事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義∶○	演	習:	実		実打	支:	
時間	引数	18時間		週時間数		9時	間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備土資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5				
使用教材 基礎自動車工学 授業外学習									
	の方法								
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	自動車の材料		鉄鋼・鋳鉄・鋼					
	2	自動車の材料		焼結合金·製法	•特性•用途				
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業	7								
計画	8								
_	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	1名	燃料・	閏滑剤		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間征	 连事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義∶○	演	習:	実習	i:	実打	支:	
時間		18時間		週時間数		9時	計間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備基礎技術取得を自 ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)				
使用	教材	基礎自動車工学							
授業がのフ	ト学習 5法	テキストの該当範囲を事前に読ん	んでおくこと						
学期	ターム	項目			内容・準備資料等				
	1	燃料		燃料の種類(ガ)	/リン、軽油、LPC	i)			
	2	燃料		燃焼の仕方					
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業	7								
計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率 対面授	。 (表現では、現代では、現代では、現代では、現代では、現代では、現代では、現代では、現	末試験の受験 併用実施	資格を与えない					

科目	1名	エン	ジン		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	別に6年、板金・塗	装業務に4年間	従事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義∶○	演	習:	実習		実打	支:	
時間	引数	14.4時間		週時間数		5.48	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5				
使用教材 3級自動車ガソリン・エンジン 授業外学習の方法 デキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 学期 ターム 項目 内容・準備資料等									
の方法									
学期	ターム	項目			内容-準備資料等				
	1	エンジン本体(ガソリン)		エンジン本体(シ	<i>゚</i> リンダヘッド・ブロ	コック・ピストン等	の整備		
	2	潤滑装置(ガソリン)	潤滑装置の整備	Ė.					
	3	冷却装置・燃料装置(ガソリン)	冷却装置·燃料	装置の整備					
	4								
	5								
	6								
授	7								
授業計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率 対面授	ī が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験: が併用実施	資格を与えない	1				

科目	1名	ェン	ジン		指導担当	当者名	山本	巧		
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	8に6年、板金・塗	装業務に4年間位	羊事	実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	年		
授業	方法	講義:○	演	習.	実習] :	実打	支:		
時間		21.6時間		週時間数		5.4	時間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備基礎技術取得を自 ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		- て総合評価する						
使用	教材	3級自動車ジーゼル・エンジン								
授業がのフ	ト学習 5法	テキストの該当範囲を事前に読ん	んでおくこと							
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	1	エンジン本体(ジーゼル)		エンジン本体(シリンダヘッド・ブロック・ピストン等)の整備						
	2	潤滑装置・冷却装置(ジーゼル)		潤滑装置の整備	İ					
	3	燃料装置(ジーゼル)		インジェクション፣	ポンプの整備					
	4	吸排気装置(ジーゼル)		吸排気装置の整	:備					
	5									
	6									
授 業	7									
計画	8									
_	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施										

科目]名	シャ	ァシ		指導担	当者名	山本	巧		
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	आこ6年、板金・塗	装業務に4年間征	送事	実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科1	年		
授業	方法	講義∶○	演	習:	実習	9 . 1 :	実担	支:		
時間	間数	36時間		週時間数		9時	間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備基礎技術取得を自 ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)					
使用教材 3級自動車シャシ 授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 学期 ターム 項目 内容・準備資料等										
の方法										
学期	ターム	項目			内容•準備資料等					
_	1	動力伝達装置		動力伝達装置(クラッチ)の整備						
	2	動力伝達装置		動力伝達装置(ミッション)の整備					
	3	アクスル及びサスペンション		アクスル及びサ	スペンションの整	備				
	4	ステアリング装置		ステアリング装置	置の整備					
	5									
	6									
授 業 計	7									
計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	L の留意点 出席率 対面授	 	- 末試験の受験〕 併用実施	資格を与えない						

科目	1名	電	装		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	祭に6年、板金・塗	装業務に4年間	 送事	実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科1	年	
授業	方法	講義:○	演	習:	実	멸:	実技	支:	
時間	引数	36時間		週時間数		9時	計間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)				
使用教材 3級自動車ガソリン・エンジン 授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと									
授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 学期 ターム 項目 内容・準備資料等									
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	1	半導体		半導体の種類・特徴					
	2	バッテリ	バッテリの概要・	構造・機能・整備	Ħ				
	3	始動装置		始動装置の概要	҈∙構造∙機能∙整	備			
	4	充電装置		充電装置の概要	҈∙構造∙機能∙整	備			
	5								
	6								
授 業 計	7								
計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率: 対面授:	【 { が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	ー 末試験の受験 併用実施	資格を与えない	1				

科目	1名	整備作	業機器		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	8に6年、板金・塗	装業務に4年間	従事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義:○	演 [:]	習:	実	習:	実持	支:	
時間	引数	18時間		週時間数		9時	間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)				
使用教材 基礎自動車整備作業 授業外学習									
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
_	1	整備の基礎知識		整備作業の目標	₹・労働安全・公署				
	2	基礎整備作業		ハンドツールのイ	吏い方				
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業	7								
計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点		士討段の立め	 					
	対面授:	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	へ武嶽の文嶽: が用実施	貝俗で子えない	•				

———— 科 E]名	測定	機器		指導担論	当者名	山本	巧		
実務	経験	 自動車整備工場にて	自動車整備業務	 8に6年、板金・塗	 装業務に4年間従	 送事	実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	└───── 動車車体工学科1	年		
授業	方法	講義:○	演	習:	実習	9 . 9 :	実担	支:		
時間	間数	18時間		週時間数		9時	間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100g		て総合評価する						
使用	教材	基礎自動車整備作業								
授業を	↑学習 5法	テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと							
学期	ターム	項目			内容•準備資料等					
	1	エンジン・シャシ点検作業		ノギス、マイクロ	メータ、ダイヤル・	ゲージ、Vブロ	ックの使い方			
	2	エンジン・シャシ点検作業		シリンダ・ゲージ	、シックネス・ゲー	-ジ使い方				
	3									
	4									
	5									
	6									
授 業	7									
計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施									

科目	3名	検査	機器		指導担	当者名	山本	巧
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間	 送事	実務経験:	有
開講	時期	前期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科1	年
授業	方法	講義:〇	演	習:	実習	멸:	実技	支:
時間		18時間		週時間数		9時	持間	
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す				
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)			
使用教材 基礎自動車整備作業 授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと								
学期	ターム	項目						
_	1	検査整備作業		ブレーキテスタ・	サイドスリップテ	スタ・スピードメー	ータテスタの使い	方
	2	検査整備作業	音量計・ヘッドラ	イトテスタ・ホイー	-ルアライメントラ	テスタの使い方		
	3							
	4							
	5							
	6							
授 業 計	7							
計	8							
画	9							
前 期	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	の留意点 出席率 対面授	 	末試験の受験 が が は は は は は は は は は は は は は は は は は	 資格を与えない				

科目]名	手仕上	げ工作		指導担	当者名	山本	巧
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	आこ6年、板金・塗	装業務に4年間	走事	実務経験:	有
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科1	年
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実技	支:
時間	間数	18時間		週時間数		188	寺間	
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備土資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す				
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)			
使用教材 真鍮棒、弓ノコ、鉄板 授業外学習の方法 レポート内容の復習								
の方法 DN-PMAOV後音								
学期	ターム	項目		内容·準備資料等				
	1	ミニピストン作成		弓のこを使った村	材料の切り出し・	真鋳によるミニヒ	ピストン作り	
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
授 業 計	7							
計	8							
画	9							
前 期	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	D の留意点 出席率 対面授	ī が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験 が が 対用実施	資格を与えない				

科目	1名	機械	工作		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間	 従事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	':O	実打	 支:	
時間	引数	9時間		週時間数		9時	間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100g			,				
使用教材 グラインダー、卓上ボール盤、電気ドリル 授業外学習の方法 レポート内容の復習 学期 ターム 項目 内容・準備資料等									
		レポート内容の復習	項目 内容・準備資料等						
学期	ターム	項目							
	1	業機械の取り扱い グラインダー・ボール盤等の電気機械の取り扱い							
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
授	7								
授 業 計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点								
	出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	1名	基本	計測		指導担	当者名	山本	巧		
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間(走事	実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科	年		
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実打	支:		
時間		45時間		週時間数		36	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備基礎技術取得を自 ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)					
使用	教材	ノギス、マイクロメーター、シック	ネスゲージ、スト	ゲージ、ストレートエッジ等						
授業がのフ	ト学習 5法	レポート内容の復習								
学期	ターム	項目			内容・準備資料等					
_	1	計測機器の説明・測定			ストレートエッジ・		ジ・スコヤで計測			
	2	エンジン基本計測		プラグギャップゲージ・タイミングライトで計測 コンプレッションゲージ・バキュームゲージで計測						
	3									
	4									
	5									
	6									
授 業	7									
計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施									

科目	目名	エンジ	ン整備		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	祭に6年、板金・塗	装業務に4年間	従事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科1	年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	':O	実技	支:	
時間		140時間		週時間数		368	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100g			5				
使用	教材	エンジン単体(ガソリン・ジーゼル	,)						
授業外学習 の方法 レポート内容の復習 学期 ターム 項目 内容・準備資料等									
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	1	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン	·単体(4気筒)分	解∙名称確認				
	2	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン	·単体(4気筒)計	測・組付け				
	3	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジ	ン単体(4気筒)分	↑解•名称確認				
	4	ジーゼルエンジン		ジーゼルエンジ	ン単体(4気筒)計	・組付け			
	5								
	6								
授業	7								
授 業 計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(

科目	目名	エンジ	ン整備		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間(走事	実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実打	支:	
時間	間数	67時間		週時間数		368	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		して総合評価する)				
	教材	エンジン本体(特殊エンジン)							
授業外学習 の方法 レポート内容の復習 学期 ターム 項目 内容・準備資料等									
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等		
	1	特殊エンジン		ロータリーエンジン・水平対向エンジン単体の分解・名称確認					
	2	特殊エンジン		ロータリーエンジン・水平対向エンジン単体の計測・組付け					
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業	7								
計画	8								
_	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(を上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	1名	シャシ			指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間	 送事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科1	年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実担	支:	
時間	引数	72時間		週時間数		368	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
					5				
授業外学習 の方法 レポート内容の復習 学期 ターム 項目									
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	1	動力伝達装置		クラッチ・ミッショ	ッチ・ミッションの脱着・分解・組立				
	2	アクスル及びサスペンション		前後サスペンシ	ョン・アクスルの胴	说着•分解•組立			
	3								
	4								
	5								
	6								
授	7								
授 業 計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	の留意点 出席率: 対面授:	[表 が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験 が が が は は は は は は は は は は は は は は は は	 資格を与えない	\				

———— 科 E	 目名	シャシ	 ν整備			 当者名	山本	巧		
	 経験	自動車整備工場にて		 8に6年、板金・塗			実務経験:	 有		
	時期	後期		対象学	ı					
	方法	講義:	演		実習	:O	実打	支:		
———— 時間	 引数	135時間		週時間数		368	 寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる一	目指す 指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		- て総合評価する						
使用	教材	実習車両								
授業を		レポート内容の復習								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等			
	1	ステアリング装置		ステアリング装置の脱着・分解・組立						
	2	ホール・アライメント		ホール・アライメントの測定・調整						
	3	ブレーキ装置		ディスクブレーキ装置の脱着・分解・組立						
	4	点検整備		定期点検の内容	'確認∙実施					
	5									
	6									
授	7									
業計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上('` 修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施									

科目	1名	電装	整備		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間	従事	実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	':O	実打	 支:	
時間	引数	72時間		週時間数		36₽	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100g			5				
使用教材 実習車両、電装品単品 授業外学習の方法 レポート内容の復習 学期 ターム 項目 内容・準備資料等									
		レポート内容の復習							
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	1	サーキットテスタ		サーキットテスタでの測定方法					
	2	バッテリ		バッテリの点検・	脱着				
	3								
	4								
	5								
	6								
授	7								
授 業 計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	の留意点								
	出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	1名	電装	整備		指導担	当者名	山本	巧		
実務	経験	自動車整備工場にて	自動車整備業務	新に6年、板金・塗	装業務に4年間	 送事	実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科1	年		
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実担	支:		
時間	引数	126時間		週時間数		368	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100g	確認をする為の課題提出) 価を100点満点で点数化して総合評価する							
使用	教材	実習車両、電装品単品								
	外学習 方法 レポート内容の復習 内容・準備答判等									
学期	ターム	項目			内	容•準備資料	等			
	1	始動装置		スターターモーク	スターターモータの脱着・分解・組立・点検					
	2	充電装置		オルタネータの脱着・分解・組立・点検						
	3	点火装置		ディストリビュータの脱着・分解・組立・点検						
	4	予熱装置		グロープラグの	脱着·分解·組立	·点検				
	5									
	6									
授	7									
授 業 計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	'°									

科目	1名	OA	実習		指導担当	当者名	山本	巧	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	1年	
授業	方法	講義:	演習	ł:O	実習] :	実	支:	
時間	引数	32.4時間		週時間数		3.6	時間		
学習到	達目標	・Excelの基本操作が出来るよう・簡単な関数が組めるようになる・グラフが作成できるようになる	こなる						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		- て総合評価する					
使用	教材	Excel基礎学習・ノートパソコン							
授業を		テキストの該当範囲を事前に読ん	んでおくこと						
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	Excel基礎学習		起動、画面構成、入力設定					
	2	Excel基礎学習	セルの選択、デ	ータ入力					
	3	Excel基礎学習		セルの書式設定					
	4	Excel基礎学習		行と列の編集					
	5	Excel基礎学習		行と列の編集					
	6	Excel基礎学習		ブックの保存、終了					
授 業	7	Excel基礎学習		関数とグラフ					
計	8	Excel基礎学習		関数とグラフ					
画	9	Excel基礎学習		データ抽出					
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								

科目	1名	OAS	実習		指導担	当者名	山本	巧		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	後期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科	1年		
授業	方法	講義:	演習	T:O	実習	9 . 1 :	実	支:		
時間	引数	3.6時間		週時間数		3.6	寺間			
学習到	達目標	Excelの基本操作が出来るよう・簡単な関数が組めるようになる・グラフが作成できるようになる								
評価評価	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)為の課題提出) 気満点で点数化し	して総合評価する	,					
使用		Excel基礎学習・ノートパソコン								
授業を	ト学習 5法 	テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと							
学期	ターム	項目			内容・準備資料等					
	1	Excelのまとめ		前期の総復習						
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
授	7									
業計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(出席率:	が95%に満たない場合は、期	- 末試験の受験: 併用実施	資格を与えない						
	対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施									

科目	1名	総合	学習		指導担	当者名	山本	巧	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	1年	
授業	方法	講義:	演習	i:O	実習	3 . 3 :	実打	支:	
時間	引数	32.4時間		週時間数		3.68	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		して総合評価する	5				
使用	教材	3級自動車ガソリンエンジン・3級	自動車ジーゼル	エンジン・3級自!	動車シャシ・3級自	動車整備士過	去問題プリント		
授業を		テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと						
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	ガソリンエンジン		3級ガソリン過去	:問題プリントにて	復習・まとめ			
	2	ガソリンエンジン		3級ガソリン過去	:問題プリントにて	復習・まとめ			
	3	ガソリンエンジン		3級ガソリン過去	:問題プリントにて	復習・まとめ			
	4	ガソリンエンジン		3級ガソリン過去	:問題プリントにて	復習・まとめ			
	5	ガソリンエンジン		3級ガソリン過去	:問題プリントにて	復習・まとめ			
	6	ジーゼルエンジン		3級ジーゼル過	去問題プリントにつ	て復習・まとめ			
授 業	7	ジーゼルエンジン		3級ジーゼル過	去問題プリントにつ	て復習・まとめ			
計	8	ジーゼルエンジン		3級ジーゼル過	去問題プリントにつ	て復習・まとめ			
画	9	ジーゼルエンジン		3級ジーゼル過	去問題プリントにつ	て復習・まとめ			
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	覆修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない								

対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施

科目	1名	総合	学習		指導担当	当者名	山本	巧	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科	年	
授業	方法	講義:	演習	1:0	実習] :	実技	支:	
時間	引数	21.6時間		週時間数		3.68	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点							
使用	教材	 面接対策 &ビジネスマナーテキ。 	スト・ワークブック	7					
授業を		テキストの該当範囲を事前に読ん	んでおくこと						
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ						
	2	シャシ		3級シャシ過去問	問題プリントにて復	[習・まとめ			
	3	シャシ		3級シャシ過去問	問題プリントにて復	[習・まとめ			
	4	シャシ		3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ					
	5	二輪		3級二輪過去問	題プリントにて復習	習・まとめ			
	6	二輪		3級二輪過去問	題プリントにて復習	習・まとめ			
授業	7								
授 業 計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点			* 2 2 3 3 4 3 4 4 4 4 5 4 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
	山席平2	が95%に満たない場合は、期間	不試験の党験)	貝恰を子えない	`				

対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施

科目	目名	就職	実務		指導担当	当者名	山本	巧	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	1年	
授業	方法	講義:○	演	習:	実習] :	実打	支:	
時間	『数	18時間		週時間数		3.6	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・就職活動において活用できる-		目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点							
使用	教材	面接対策&ビジネスマナーテキ	スト・ワークブック	,					
授業を	1学習 5法	テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと						
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	1	社会人になるとは		心構え・求められ	ւる資質・職場で0	り基本マナー			
	2	基本動作・言葉遣い	姿勢・歩き方・表	情·発声練習·敬	語の基本・話し	方・聞き方			
	3	面接の目的		面接について考	える				
	4	自己分析·自己PR·志望動機作	成	自己分析をし自	己PR·志望動機の)作成			
	5	履歴書作成		履歴書の書き方と作成					
	6								
授	7								
業計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								

科目	1名	構造・	生能学		指導担当	者名	根本	勝		
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	2年		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実習:		実打	支:		
時間	引数	81時間		週時間数		14.4	時間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		- て総合評価する	,					
使用	教材	2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車シャシ テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと								
授業を		テキストの該当範囲を事前に読	事前に読んでおくこと							
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
1 7/1	1	ガソリンエンジン総論		燃焼方式・バル	ブタイミング・性能					
	2	ガソリンエンジン本体		レシプロエンジンの概要・構造・機能						
	3	潤滑·冷却装置		オイルの循環・消	由圧制御・電動ファン	ノ・電動ウォー	-ターポンプの構造	告∙機能		
	4	燃料·吸排気装置		燃料噴射装置・	過給機の概要・構造	₫∙機能				
	5	シャシの総論		自動車の発達・	生能					
	6	動力伝達装置		AT・CVTの構造	・機能					
授	7									
業計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(の留意点									
	出席率:	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	未試験の受験) 併用実施	質俗を与えない	ı					

科目	1名	構造・	性能学		指導担	当者名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	2年	
授業	方法	講義∶○	演	習:	実	習:	実技	 支:	
時間	『数	54時間		週時間数		14.4	時間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点							
・									
授業外学習									
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	1	アクスル及びサスペンション		エアサスペンショ	ョン・電子制御式	サスペンションの)構造·機能		
	2	スタアリング装置・ブレーキ装置	パワーステアリン	ング・エアブレー:	キの構造・機能				
	3	ニ輪の総論・エンジン・シャシ		二輪の発達・性	能・エンジン本体	・動力伝達装置	の構造・機能		
	4	ジーゼルエンジン燃料装置・予熱	热装置	高圧燃料噴射装	長置・予熱装置の	概要∙構造∙機能	É		
	5								
	6								
授	7								
授 業 計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(

科目	1名	力学	·数学		指導担	当者名	根本	勝
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科名	2年
授業	方法	講義:○	演 [:]	習:	実習	3: 	実持	支:
時間	引数	18時間		週時間数		9時	間	
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す				
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点	5為の課題提出) 5満点で点数化し	して総合評価する)			
	教材	基礎自動車工学						
授業外学習 の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 学期 ターム 項目 内容・準備資料等								
学期	ターム	項目		内容・準備資料等				
	1	基礎的な原理・法則		荷重(テコの原理	里)・軸重・トルク・	軸トルクの計算	の計算	
	2	自動車の諸元		変速比・自動車	こ働く抵抗・駆動	力·登坂能力·燃	燃料消費率の計算	Į
	3							
	4							
	5							
	6							
授 業	7							
計画	8							
_	9							
前 期	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
履修上(多上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施							

科目	1名	電気・電	子理論		指導担	当者名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科2	!年	
授業	方法	講義∶○	演	習:	実習	9 . 3 ·	実担	支:	
時間		36時間		週時間数		5.4	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5				
使用教材 2級自動車ガソリンエンジン 授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと									
哲学が学習									
学期	ターム	項目			内容·準備資料等				
	1	半導体の基礎		概要					
	2	半導体の基礎		半導体の種類と特質					
	3	半導体の基礎		ダイオードの種類・特質					
	4	半導体の基礎		トランジスタの種	類				
	5	半導体の基礎		トランジスタの回	路•増幅作用				
	6	半導体の基礎		論理回路の種類	∮•特質				
授	7	半導体の基礎		サーミスタの回路	格·圧電素子				
授業計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率: 対面授:	 	末試験の受験 併用実施	資格を与えない	\				

科目名 電気・電子理論 指導担当者名 松崎 翔				翔太					
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科	2年	
授業	方法	講義:○	演	習:	実習] :	実	技:	
時間	引数	12時間		週時間数		4時	計間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備土資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点	する為の課題提出) 100点満点で点数化して総合評価する						
使用	教材	2級自動車ガソリンエンジン							
授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 学期 ターム 項目 内容・準備資料等									
学期	ターム	項目		内容・準備資料等					
	1	半導体の基礎		論理回路の種類	į				
	2	半導体の基礎	論理回路の特質	Ì					
	3	半導体の基礎		サーミスタ・圧電	素子				
	4								
	5								
	6								
授	7								
授 業 計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
ŀ	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(出席率	 	- 末試験の受験〕 併用実施	資格を与えない	,				

科目	1名	図頂	5学		指導担	当者名	根本	勝
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科	2年
授業	方法	講義:〇	演	習:	実習	3 . 3 :	実打	支:
時間	間数	18時間		週時間数		9時	計	
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す				
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)			
	教材	補助プリント						
授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 学期 ターム 項目 内容・準備資料等								
学期	ターム	項目		内容・準備資料等				
	1	製図の基本・形体の精度		製図の投影方法	・大きさと尺度・「	図形の表し方等		
	2	表面性状の図示方法・機械要素	部品の製図	表面粗さ・ねじ・!	転がり軸受け・歯	車・ばねの製図	l	
	3							
	4							
	5							
	6							
授 業	7							
計画	8							
_	9							
前 期	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							

科目	1名	エン	ジン		指導担	当者名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科2	?年	
授業	方法	講義∶○	演	習:	実習	9 . 9 :	実技	支:	
時間	『数	9時間		週時間数		1.88	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		- て総合評価する	,				
使用									
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	1	潤滑装置		潤滑系統の点検・整備					
	2	冷却装置	電動ファンの点検・整備						
	3	エンジンの点検整備(ガソリン)		エンジンの基本点検					
	4	エンジンの点検整備(ガソリン)		自己診断システ	ムの点検				
	5	エンジンの点検整備(ガソリン)		自己診断システ	ムの点検				
	6								
授 業 計	7								
計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率: 対面授:	 	末試験の受験〕 ・ が は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	資格を与えない	.				

科目	1名	ェン	ジン		指導担当者	名	根本	勝		
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	!年		
授業	方法	講義∶○	演習	習:	実習:		実担	支:		
時間	引数	9時間		週時間数		1.8	· 時間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備土資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できるー	指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		- て総合評価する	,					
使用	教材	2級自動車ジーゼルエンジン								
授業を		テキストの該当範囲を事前に読ん	んでおくこと							
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
学期:	1	エンジンの点検整備(ジーゼル)		エンジンの基本点検						
	2	エンジンの点検整備(ジーゼル)		インジェクションポンプの点検・整備						
	3	エンジンの点検整備(ジーゼル)		インジェクション	ポンプの点検・整備					
	4	エンジンの点検整備(ジーゼル)		高圧燃料噴射装	置の点検・整備					
	5	エンジンの点検整備(ジーゼル)		自己診断システ	ムの点検					
	6									
授 業	7									
計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(の留意点									
	出席率:	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	木試験の受験〕 併用実施	質俗を与えない	ı					

科目	1名	シャ	ッシ		指導担当者	·名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	!年	
授業	方法	講義:○	演	習.	実習:		実担	支:	
時間		9時間		週時間数		1.8	時間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備土資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できるー	指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		て総合評価する					
使用	教材	2級自動車シャシ							
授業を	1学習 5法	テキストの該当範囲を事前に読ん	送当範囲を事前に読んでおくこと 						
学期	ターム	項目			内容・準備資料等				
	1	動力伝達装置		クラッチ・AT・CV	Tの整備				
	2	アクスル及びサスペンション		エアサスペンション・アクスルの整備					
	3	ステアリング装置		パワーステアリングの整備					
	4	ホイール及びタイヤ		ホイール・タイヤ	の整備				
	5	ホイールアライメント		キャンバ・キャス	タ・キングピン・トーの)測定・調整			
	6								
授 業	7								
計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施									

科目	科目名 シャシ		ッシ		指導担当者	名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	!年	
授業	方法	講義:○	演	習.	実習:		実担	支:	
時間	『数	9時間		週時間数		1.88	诗間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備基礎技術取得を自 ・主動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できるー	指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		して総合評価する					
使用教材 2級自動車シャシ 授業外学習 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと									
の方法 「ディヘトの該当製団を争削に読んでおくこと									
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	ブレーキ装置		エアブレーキ・補	助ブレーキの整備				
	2	保安基準適合性確保 概要・点検の目的							
	3	保安基準適合性確保		各部の点検・検査	查用機器				
	4	車検点検		車検点検の概要・内容					
	5	定期点検		定期点検の概要	•内容				
	6								
授 業	7								
計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(上版上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	1名	電	装		指導担当	当者名	根本	勝		
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科2	?年		
授業	方法	講義∶○	演	習:	実習	? :	実担	支:		
時間	引数	9時間		週時間数		1.88	· 诗間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)					
使用教材 2級自動車ガソリンエンジン 授業外学習 の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと										
授業外学習 の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 学期 ターム 項目 内容・準備資料等										
学期	ターム	項目			内容•準備資料等					
	1	バッテリ		バッテリの整備						
	2	始動装置		スターターモータ	の点検・整備					
	3	充電装置		オルタネーターの	の点検・整備					
	4	電子制御装置		概要・センサの構造・機能						
	5	電子制御装置		アクチュエータの構造・機能						
	6									
授	7									
授 業 計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	の留意点出席率が	[3 が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験	資格を与えない						

科目	1名	電	装		指導担当	者名	根本	勝				
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有				
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	!年				
授業	方法	講義∶○	演習	習:	実習:		実担	支:				
時間	引数	9時間		週時間数		1.88	· 時間					
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	指す	目指す								
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		- て総合評価する	,							
使用	教材	2級自動車ガソリンエンジン	は自動車ガソリンエンジン キストの該当範囲を事前に読んでおくこと									
授業を		テキストの該当範囲を事前に読										
学期	ターム	項目			内容-準備資料等							
_	1	計器·警報装置		メーター・ホーン	の概要・構造・機能	҈∙整備						
	2	空気調和装置		エアコンの概要・	構造・機能・整備							
	3	電気装置の配線		電気配線の概要	-構造∙機能							
	4	安全装置及び付属装置		エアバック・カーナビゲーションの構造・機能・整備								
	5	回路図		回路図の解読力	向							
	6											
授	7											
業計	8											
画	9											
後 期	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
	16											
履修上(の留意点											
	出席率:	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	未試験の受験〕 併用実施	食格を与えない	ı							

科目	1名	故障原	因探求		指導担当	i者名	根本	勝		
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	2年		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実習	:	実打	支:		
時間	間数	18時間		週時間数		3.68	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点								
使用	教材	2級自動車ガソリンエンジン								
授業を	1学習 5法	テキストの該当範囲を事前に読	Fストの該当範囲を事前に読んでおくこと 項目 内容・準備資料等							
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
_	1	ガソリンエンジン故障原因探求		概要・効率的な診断・診断の基本(問診・現象確認・原因の推定・再発の防止)						
	2	ガソリンエンジン故障原因探求		故障診断の進め方						
	3	ガソリンエンジン故障原因探求		不具合現象とそ	の原因探求(エン	ジン始動不能)				
	4	ガソリンエンジン故障原因探求		不具合現象とその原因探求(エンジン不調)						
	5	ガソリンエンジン故障原因探求		不具合現象とそ	の原因探求(エン	ジン不調)				
	6									
授 業	7									
計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(10 修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施									

科目	1名	故障原	因探求		指導担当	当者名	根本	勝		
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科2	2年		
授業	方法	講義:○	演	習:	実習	<u>':</u>	実技	支:		
時間	引数	18時間		週時間数		3.6	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			ò					
使用教材 2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ 授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと										
哲学と学習										
学期	ターム	項目		内容-準備資料等						
	1	ジーゼルエンジン故障原因探求		概要・効率的な診断・診断の基本						
	2	ジーゼルエンジン故障原因探求		故障診断の進め方・故障診断の手順						
	3	シャシ故障原因探求		概要・効率的な	診断・診断の基本					
	4	シャシ故障原因探求		故障診断の進め)方					
	5	シャシ故障原因探求		故障診断の点検	· 注方法					
	6									
授業	7									
授 業 計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(の留意点 出席率:	L (が95%に満たない場合は、期	- 末試験の受験 ⁻	というできません。 資格を与えなに	۸					
	対面授	業が困難な場合は遠隔授業も	併用実施	- 1 I C 5 / C G V						

科目名 検査学		全学		指導担当	者名	根本	勝		
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	!年	
授業	方法	講義:〇	演	習:	実習:		実打	支:	
時間	『数	27時間		週時間数		9時	間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる一	目指す 指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		て総合評価する					
使用	教材	法令教本							
授業外学習の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと 学期 ターム 項目									
学期	ターム	項目		内容・準備資料等					
	1	道路運送車両法		自動車の種類・	登録•点検整備制度	Ę			
	2	道路運送車両法		検査・認証制度					
	3	道路運送車両法		指定制度・届ける	出・手数料の納付				
	4								
	5								
	6								
授	7								
業計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(優修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	1名	自動車型	整備法規		指導担当	省者名	根本	勝				
実務	経験	自動車整	後期 対象学科学年 自動車車体工学科2年 講義:〇 演習: 実習: 実技: 27時間 週時間数 9時間 動車業界への就職を目指す 級自動車整備工資格取得を目指す 動車整備基礎技術取得を目指す 職活動において活用できる一般常識習得を目指す 席率 業態度 出課題(各項目の確認をする為の課題提出) 末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 合教本 -ストの該当範囲を事前に読んでおくこと 項目 内容・準備資料等 各運送車両の保安基準 自動車の構造・装置(原動機・シャシ関係) 各運送車両の保安基準 自動車の構造・装置(庫体関係・公害防止関係)		有							
開講	時期	後期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科2	2年				
授業	方法	講義:〇	演	習:	実習	<u>':</u>	実持	支:				
時間	引数	27時間		週時間数		9時	間					
学習到	達目標	自動車整備基礎技術取得を目	指す	目指す								
	方法 基準			て総合評価する								
使用教材 法令教本 授業外学習 の方法 アキストの該当範囲を事前に読んでおくこと												
授業外学習 の方法 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと												
学期	ターム	項目		内容•準備資料等								
-	1	道路運送車両の保安基準		自動車の構造・装置(原動機・シャシ関係)								
	2	道路運送車両の保安基準 自動車の装置(車体関係・公害防止関係)										
	3	道路運送車両の保安基準		自動車の装置(対	汀火関係·運転操	作)						
	4											
	5											
	6											
授	7											
業計	8											
画	9											
後 期	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
	16											
履修上(の留意点 出席率が 対面授	が95%に満たない場合は、期										

科目	1名	エンジ	ン整備		指導担	当者名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科2	2年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	':O	実打	支:	
時間	引数	72時間		週時間数		36₽	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備土資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5				
	教材	エンジン単体、実習車両							
授業を		レポートの内容を復習する	-トの内容を復習する 項目 内容・準備資料等						
学期	ターム	項目		内容-準備資料等					
_	1	エンジン本体		エンジン本体の脱着・タイミングベルト・チェーンの脱着					
	2	燃料装置		インジェクション	ポンプの脱着				
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業	7								
計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目名 エンジン書			 ン整備		指導担	当者名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科2	2年	
授業	方法	講義:	演習	習:	実習	:O	実打	支:	
時間		72時間		週時間数		36	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる一	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)				
使用教材 エンジン単体、実習車両 授業外学習の方法 レポートの内容を復習する									
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	1	冷却装置		電動ファンの点材					
	2	エンジンの点検・整備		外部診断機によ	る点検・調整				
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業 計	7								
計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	の留意点 出席率: 対面授:	ī が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	- 末試験の受験 併用実施	 資格を与えない					

科目	1名	シャシ	整備		指導担	当者名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科名	?年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	':O	実打	支:	
時間	引数	72時間		週時間数		36₽	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備土資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100g	5為の課題提出) 5満点で点数化し	して総合評価する)				
使用教材 実習車両 授業外学習の方法 レポートの内容を復習する									
		レポートの内容を復習する	ートの内容を復習する 項目 内容・準備資料等						
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	1	動力伝達装置ATの分解・組立							
	2	ブレーキ装置		ブレーキ単体の	分解·組立				
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業	7								
計画	8								
_	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	1名	シャシ	整備		指導担	当者名	根本	勝	
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科名	2年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実技	支:	
時間	引数	72時間		週時間数		36₽	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5				
	教材	実習車両							
授業を		レポートの内容を復習する	ートの内容を復習する 項目 内容・準備資料等						
学期	ターム	項目		内容-準備資料等					
	1	ステアリング装置		ラックピニオン型	!・ボールナット型	ステアリングのタ	分解•組立		
	2	ホイールアライメント		ホイールアライス	ソントの調整				
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業	7								
計画	8								
_	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16		_						
履修上(修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

科目	3名	電装	整備		指導担当	当者名	根本勝			
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自動	動車車体工学科名	2年		
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実持	支:		
時間	『数	72時間		週時間数		36₽	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点	う為の課題提出) 気満点で点数化し	ンて総合評価する	5					
使用	の方法 「一下の内容を復音する 「一下の内容を復音する 「一下の内容を復音する 「一下の内容を復音する									
授業外学習 の方法 レポートの内容を復習する 学期 ターム 項目 内容・準備資料等										
学期	ターム	項目								
	1	始動装置		スターターモータ	マの脱着・点検・整	E 備				
	2	充電装置		オルタネータの月	脱着∙点検∙整備					
	3									
	4									
	5									
	6									
授 業 計	7									
計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	の留意点 出席率 対面授	 	末試験の受験: が が が は は は は は は は は は は は は は は は は	 資格を与えない	`					

科目	1名	電装	整備		指導担当者名 根本 勝			
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有
開講	時期	後期		対象学	科学年	自草	動車車体工学科2	2年
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実打	支:
時間	引数	72時間		週時間数		368	寺間	
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す				
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5			
使用	教材	実習車両						
授業を		レポートの内容を復習する 内容・準備資料等						
学期	ターム	項目		内容•準備資料等				
	1	点火装置		イグニッションコイルの脱着・点検・整備				
	2	シャシ電装		基本的な回路図	の読み方・現車	を使っての確認		
	3							
	4							
	5							
	6							
授業	7							
授 業 計	8							
画	9							
後 期	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	の留意点 出席率 対面授	【 表 が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	ー 末試験の受験 併用実施	資格を与えない	N			

科目名		故障原	因探求		指導担当者名 根本 勝				
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:		有
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	2年	
授業	方法	講義:	演 [:]	習:	実習	T:O	実技	支:	
時間	『数	72時間		週時間数		36₽	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			;				
使用	教材	実習車両							
授業を	↑学習 5法	レポートの内容を復習する							
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	1	エンジン故障原因探求		エンジン故障時の基本点検・始動不能・不調の故障診断					
	2	エンジン故障原因探求 出力不足・燃料消費量多い車の故障診断							
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業 計	7								
未 計 画	8								
	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率 対面授	〔 が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	- 末試験の受験: が併用実施	ととなる とうない とうない とうかん こうかん こうかん こうかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん か	`				

科目名		故障原	因探求		指導担当者名 根本 勝				
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:		有
開講	時期	後期		対象学	科学年	自導	動車車体工学科	2年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	: :O	実	支:	
時間	『数	63時間		週時間数		368	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点	る為の課題提出) 気満点で点数化し	して総合評価する	ò				
使用	教材	実習車両							
授業外学習 の方法 レポートの内容を復習する 学期 ターム 項目 内容・準備資料等									
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	シャシ故障診断		ATの故障診断					
	2	シャシ故障診断		ABSの故障診断	i				
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業 計	7								
未 計 画	8								
	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率: 対面授:	[[が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	ー 末試験の受験: が併用実施	資格を与えない	\				

科目	1名	検査	作業		指導担当者名 根本 勝			
実務	経験	自動車整	備工場にて自動	車整備業務に13	年間従事		実務経験:	有
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	2年
授業	方法	講義:	演習	習:	実習:	0	実打	支:
時間	引数	54時間		週時間数		28.8	時間	
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す				
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5			
使用	教材	実習車両						
授業を		レポートの内容を復習する						
学期	ターム	項目		内容·準備資料等				
	1	検査用機器		ブレーキテスタ・・	ヘッドライトテスタ・	サイドスリップテ	テスタの用途、構造	き、機能の確認
	2	継続検査作業		受け入れ検査・「	中間検査・完成検	査・まとめ		
	3							
	4							
	5							
	6							
授	7							
授 業 計	8							
画	9							
後 期	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							

科目	1名	OA3	実習		指導担当	4者名	根本	勝		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	2年		
授業	方法	講義:	演習	1:0	実習	:	実担	支:		
時間	引数	32.4時間		週時間数		3.68	· 诗間			
学習到	達目標	・wordの基本操作を学び、案内で	文などを作成でき	ె శ్						
評価評価	方法 基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100	点満点で点数化	して総合評価す						
使用	教材	word基礎学習・ノートパソコン								
授業を		該当範囲の予習・復習								
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	word基礎学習	起動、画面構成	、入力設定						
	2	word基礎学習		文章入力、修正	と記号					
	3	word基礎学習		章末問題 文章	の入力					
	4	word基礎学習		文章の書式設定、スクロールと画面操作						
	5	word基礎学習		範囲選択、削除・コピー・移動の方法						
	6	word基礎学習		改ページ、ヘッタ	ブーとフッターの挿	入				
授	7	word基礎学習		文書の保存とフ	アイル形式					
授 業 計	8	word基礎学習		章末問題 基本	 操作					
画	9	word基礎学習		章末問題 応用	 操作					
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(の留意点 出席率:	 { が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験〕 が用実施	資格を与えない	.					

科目	1名	OAS	実習		指導担	当者名	根本	勝	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	 2年	
授業	方法	講義:	演習	i:O	実	일 : = :	実打	支:	
時間	引数	3.6時間		週時間数		3.6	寺間		
学習到	達目標	・wordの基本操作を学び、案内で	文などを作成でき	÷8					
評価	方法 基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100)点満点で点数化	じて総合評価す	ক				
使用	教材	word基礎学習・ノートパソコン							
授業を	ト学習 5法	該当範囲の予習・復習							
学期	ターム	項目			内容-準備資料等				
	1	word基礎学習		前期の総復習					
	2								
•	3								
•	4								
-	5								
-	6								
授	7								
授 業 計	8								
画	9								
後 期	10								
-	11								
-	12								
-	13								
-	14								
-	15								
-	16								
	の留意点		━ 世段の立幹	タ 抜 太 ヒニナー					
	対面授	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	不武殿の支駛』 が併用実施	貝俗で守えない	•				

科目名		総合	学習		指導担当者名 根本 勝				
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	2年	
授業	方法	講義:	演習	1:0	実習:		実技	支:	
時間	間数	32.4時間		週時間数		3.6	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得をも・就職活動において活用できる・	目指す 指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100g		て総合評価する	,				
使用	教材	3級自動車整備士過去問·3級自	動車ガソリンエン	√ジン・3級自動車	<u></u> ジーゼルエンジン	・3級自動車シ	ヤシ		
授業外学習 テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ウスターム 項目									
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	自動車のセキュリティ		セキュリティの歴	史				
	2	自動車のセキュリティ		セキュリティの種類					
	3	自動車のセキュリティ		セキュリティの重	要性				
	4	3級問題の復習		3級自動車整備	士の過去問題復習				
	5	3級問題の復習		3級自動車整備	車整備士の過去問題復習				
	6	3級問題の復習		3級自動車整備	士の過去問題復習				
授 業	7	3級問題の復習		3級自動車整備	士の過去問題復習				
計	8	3級問題の復習		3級自動車整備	士の過去問題復習				
画	9	3級問題の復習		3級自動車整備	 士の過去問題復習				
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率:	 ፯ が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験3 が併用実施	資格を与えない	1				

科目	1名	総合	学習		指導担	当者名	根本	、勝		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	後期		対象学	科学年	自草	動車車体工学科	2年		
授業	方法	講義:	演習	ł:O	実置	3 . 3 ·	実	技:		
時間	引数	21.6時間		週時間数		3.68	時間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備工資格取得を ・自動車整備基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		して総合評価する	5					
使用	教材	2級整備士過去問プリント・2級自	動車ガソリンエン	ンジン・2級自動 ፤	直ジーゼルエンジ	ン・2級自動車シ	/ャシ・法令教本			
授業を		テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと							
学期	ターム	項目		内容-準備資料等						
	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分里	過去問題						
	2	国家2級整備士対策問題		2級シャシ分野別	過去問題					
	3	国家2級整備士対策問題		2級の基礎工学	・法令分野別問題	[
	4	国家2級整備士対策問題		2級整備士過去問題(模擬試験)						
	5	国家2級整備士対策問題		2級整備士過去問題(模擬試験)						
	6	国家2級整備士対策問題		2級整備士過去	問題(模擬試験)					
授	7									
業計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(の留意点		_							
	出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施									

科目	1名	国家試	験対策		指導担当者名 根本 勝				
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	動車車体工学科2	2年	
授業	方法	講義:	演習	1:0	実習:		実担	支:	
時間	引数	27時間		週時間数		5.4	· 诗間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・二級自動車整備士資格取得を・自動車整備基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	目指す 指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		て総合評価する)				
使用	教材	2級整備士過去問プリント・2級自	動車ガソリンエン	レジン・2級自動 重	፱ジーゼルエンジン	・2級自動車シ	/ャシ・法令教本		
授業を	▶学習 5法	テキストの該当範囲を事前に読	んでおくこと						
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	国家2級整備士対策問題		2級エンジン分野過去問題					
	2	国家2級整備士対策問題		2級シャシ分野別過去問題					
	3	国家2級整備士対策問題		2級の基礎工学	·法令分野別問題				
	4	国家2級整備士対策問題		2級整備士過去	問題(模擬試験)				
	5	国家2級整備士対策問題		2級整備士過去	問題(模擬試験)				
	6								
授 業	7								
計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率:	 { が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も		資格を与えない	.				

科目	目名	図同	面学		指導担当	者名	吉田	純		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	3年		
授業	方法	講義:○	演	習:	実習:		実打	支:		
時間	『数	9時間		週時間数		9時	· 宇間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			,					
使用	教材	図面学(製図編)								
授業を	1学習 5法	該当範囲を事前に予習								
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	製図の基本、形体の精度、表面 法、機械要素部品の製図	性状の図示方		紙の大きさと尺度・線の 差方式、除去加工の指					
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
授 業	7									
計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(の留意点 出席率 対面授	え が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験 が併用実施	資格を与えない						

科目	3名	材料・力学・構造・性能			指導担当	当者名	吉田	純	
実務	経験	自動車デ	ィーラーにて自動	助車整備業務に6	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	3年	
授業	方法	講義:〇	演習	習:	実習	! :	実	技:	
時間	引数	45時間		週時間数		21.6	時間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			,				
使用	教材	車体整備							
授業を		該当範囲を事前に予習 内容・準備資料等							
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	自動車の車体の材料		金属材料の一般	め性質、鋼材の熱	热影響、鉄鋼材	料、アルミニウム	4	
	2	自動車の強度・力学	はりの支点と反	力、荷重分布計算	の必要性、荷	重分布の計算例			
	3	車体の構造		衝突安全ボデー 形状による分類	、歩行者障害軽減	域構造、エンジ:	ンの配置による分	}類、フレーム	
	4								
	5								
	6								
授	7								
業 計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点								
	出席率方	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験〕 併用実施	資格を与えない	ı				

科目	科目名 整備 実務経験 自動車ディーラーにて自動			指導担当都	6名	吉田	純			
実務	経験	自動車デ	ィーラーにて自動	加車整備業務に6	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	動車車体工学科	3年		
授業	方法	講義:○	演習	習:	実習:		実打	技:		
時間	引数	63時間		週時間数		27	诗間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		-て総合評価する)					
使用	教材	車体整備								
授業を										
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	乗用車の整備 計測、フレーム修正機による整備、部品の取替、溶接部品の交換						Į.		
	2	トラックの整備			、の狂いの分類、フレ き裂の修理、補強板			用工具、フレー		
	3	バス		フレーム構造、ア	ドデー構造					
	4									
	5									
	6									
授	7									
業計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(の留意点									
	出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施									

科目名 板金 指導担当者名 吉田 純						純			
科目名 板金 指導担当者名 古田 純 実務経験 自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事 実務経験: 有							有		
開講	用講時期 前期 対象学科学年 自動車車体工学科3年							3年	
授業	方法	講義:〇	演習	習:	実習	! :	実	支:	
時間		63時間		週時間数		278	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		て総合評価する					
使用	教材	車体整備							
授業を	1学習 5法	該当範囲を事前に予習							
学期	ターム	項目		内容•準備資料等					
	1	鋼板の損傷		損傷状態の種類	i				
	2	板金作業		板金作業の方法	と工程				
	3	溶接		電気抵抗スポッ	~溶接、ガスシール	レドアーク溶接	、ガス溶接、電気	アーク溶接	
	4								
	5								
	6								
授	7								
業計	8								
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率 対面授	 	末試験の受験〕 併用実施	資格を与えない					

科目	1名	塗	装		指導担当	者名	吉田	純		
実務	経験	自動車デ	ィーラーにて自動	加車整備業務に6	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	自	L 動車車体工学科3年 □			
授業	方法	講義:○	演	習:	実習:	:	実担	支:		
時間	引数	63時間		週時間数		278	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・車体整備士資格取得を目指す・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる一		目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			,					
使用	教材	車体整備								
授業を		該当範囲を事前に予習								
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	塗装材料	塗料の構成、前	処理剤、下塗り塗料	料、中塗り塗料	4、上塗り塗料				
	2	塗装の乾燥機		溶剤揮発形乾燥	、反応形乾燥					
	3	塗装設備、機器		塗装工場のエア	配管、エアスプレカ	Ĭン				
	4									
	5									
	6									
授	7									
授 業 計	8									
画	9									
前 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	の留意点 出席率: 対面授:	[表 が95%に満たない場合は、期: 業が困難な場合は遠隔授業も	- 末試験の受験〕 併用実施	隆格を与えない						

科目]名	損傷	診断		指導担当	4者名	吉田	純		
実務	経験	自動車デ	ィーラーにて自動	加車整備業務に6	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	■			
授業	方法	講義:○	演	習.	実習	:	実担	支:		
時間	間数	36時間		週時間数		21.6	時間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
	方法 基準									
使用	教材	車体整備								
授業外学習 あり										
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等			
	1	損傷診断に必要な基礎知識		損傷診断の基本	要件					
	2	損傷診断に必要な基礎知識		損傷診断に必要	な基礎知識					
	3									
	4									
	5									
	6									
授 業 計	7									
計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	L の留意点 出席率 対面授	 が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	- 末試験の受験 併用実施	資格を与えない	,					

科目]名	検乳	 Y 学		指導担当	i者名	吉田	純		
実務	経験	自動車デ	ィーラーにて自動	助車整備業務に6	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科3年			
授業	方法	講義:〇	演	習:	実習	:	実担	支:		
時間	間数	18時間		週時間数		12.6	時間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)					
使用	教材	法令教材								
授業外学習										
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	車体の整備と検査		車体構造•機能.	、車体強度、車体間	耐久性の確保				
	2	車体の整備と検査		車体外観の復元	、検査における計	測の重要性				
	3									
	4									
	5									
	6									
授 業 計	7									
計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	レ の留意点 出席率: 対面授:	 が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	- 末試験の受験 併用実施	 資格を与えない						

科目	1名	自動車勢	整備法規		指導担	当者名	吉田	純
実務				有				
開講	時期	後期		対象学	学科学年 自動車車体工学科3年			3年
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	텔 . 클 :	実打	 支:
時間	引数	9時間		週時間数		9時	間	
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す				
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100g			,			
		法令教材						
授業を		該当範囲を事前に予習						
学期	ターム	項目		内容·準備資料等				
	1	道路運送車両の保安基準		車枠及び車体「! バーハング」	` 強度」「衝突安全	性」「車体表示」	「突起と回転部分	・」「リヤオー
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
授	7							
授 業 計	8							
画	9							
後 期	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	の留意点 出席率 対面授	。 が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	- 末試験の受験: 併用実施	資格を与えない	1			

科目	1名	点検·分	解·組立		指導担当	当者名	吉田	—————————————————————————————————————	
					有				
開講	時期	前期		対象学	科学年	自事	動車車体工学科3	年	
授業	方法	講義:	演習	習.	実習:	0	実担	支:	
時間	引数	270時間		週時間数		368	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
評価評価	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点		して総合評価する)				
使用	教材	トラムトラッキングゲージ、センタ	 リングゲージ、ポ	ーーー パワー、ボラ	ディクランプ				
授業を		レポート内容の復習							
学期	ターム	項目		内容・準備資料等					
7-701	1	計測		計測の基本要件	=				
	2	計測		車体寸法図					
	3	計測		計測器の種類					
	4	フレーム狂いの測定		フレームセンタリ	ングゲージ 上下	曲がり			
	5	フレーム狂いの測定		フレームセンタリ	ングゲージ 左右	曲がり			
	6	フレーム狂いの測定		フレームセンタリ	タリングゲージ ねじれ				
授 業	7	フレーム狂いの測定		フレームセンタリ	ングゲージ 菱曲	がり			
計	8	フレーム狂いの測定		トラムトラッキング	グゲージ 左右曲:	がり、菱曲がり	、つぶれ		
画	9								
前 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点 出席率: 対面授:	 	 末試験の受験〕 併用実施	資格を与えない	1				

科目	1名	調整・検	査∙板金		指導担	当者名	吉田	純		
実務	経験	自動車デ	ィーラーにて自動	助車整備業務に6	年間従事		実務経験:	有		
開講	時期	後期		対象学	科学年	自動車車体工学科3年				
授業	方法	講義:	演	習:	実習	実習:〇 実技:				
時間	引数	270時間		週時間数		368	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)					
使用	教材	ミグ溶接機、スポット溶接機、スタ	スタッド溶接機、板金ハンマー、ドリー							
授業を		レポート内容の復習	容の復習							
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	1	ボデー、フレーム修正用機器		床式フレーム修	正機					
_	2	ボデー、フレーム修正用機器		台式フレーム修正機						
	3	ボデー、フレーム修正用機器		ベンチ式フレーム	ム修正機					
	4	ボデー、フレーム修正用機器		可搬式油圧ラムユニット						
	5	溶接		電気抵抗スポッ	卜溶接					
	6	溶接		ガスシールドア-	一ク溶接					
授	7	溶接		ガス溶接						
業計	8	溶接		電気アーク溶接						
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
16										
履修上の	の留意点									
	出席率2	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	末試験の受験) 併用実施	資格を与えない	1					

科目	1名	塗	装		指導担	当者名	吉田	純	
実務	経験	自動車デ	ィーラーにて自動	助車整備業務に6	年間従事		実務経験:	有	
開講	時期	後期		対象学	科学年	自	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実担	支:	
時間	引数	117時間		週時間数		368	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点			5				
使用	教材	実習車両・塗装ガン							
授業を		レポート内容の復習							
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	下塗り塗装		プライマ、パテ類	[
	2	中塗り塗装 プライマサフェーサー、シーラー類							
	3	上塗り塗装		一液型、二液型					
	4	安全と衛生		作業者の注意事	項				
	5								
	6								
授	7								
授 業 計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点		_ 	 					
	出席率 对面授	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	未試験の受験: が が が が が は が は は は は は は は は は は り は り	質格を与えない	ı				

科目]名	損傷	診断		指導担論	当者名	吉田	純		
実務経験 自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事 実務経験:					—————— 有					
美務経験 自動車アイーフーにで自動車整備業務に6年间促事 実務経験: 有 開講時期 後期 対象学科学年 自動車車体工学科3年						3年				
授業	方法	講義:	演	当:	実習	:O	実担	支:		
時間	引数	72時間		週時間数		368	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す・板金塗装の基礎技術取得を目・就職活動において活用できる-	指す	目指す						
	方法 基準									
使用	教材	実習車両								
授業を		該当範囲を事前に予習								
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	車体の損傷診断		車体の衝撃吸収	特性					
	2	トラックの損傷診断		キャブ、リヤボデ	ー、フレームの損	傷診断				
	3									
	4									
	5									
	6									
授 業	7									
計	8									
画	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(16									

科目	1名	検査	作業		指導担	当者名	吉田	純	
						有			
開講時期 後期 対象学科学年 自動車車体工学科3年 授業方法 講義: 演習: 実習:○ 実技:				3年					
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実担	支:	
時間	罰数	27時間		週時間数		278	寺間		
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目 ・就職活動において活用できる-	指す	目指す					
	方法 基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点)				
	教材	実習車両							
授業を	↑学習 5法 	該当範囲を事前に予習							
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
_	1	車体の損傷診断		事故車両の車体	構造、復元検査				
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
授 業	7								
計	8								
画	9								
後 期	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
履修上(の留意点		-	 					
	対面授:	が95%に満たない場合は、期 業が困難な場合は遠隔授業も	へ武殿の気験) が用実施	貝俗で守えない	•				

科目名 総合学習 指導担当者名 吉田 純					純					
実務経験 実務経験:										
開講時期 後期 対象学科学年 自動車車体工学科3年				3年						
授業	方法	講義:	演習	T:0	実習	3 : 3 :	実技	支:		
時間	引数	54時間		週時間数		278	寺間			
学習到	達目標	・自動車業界への就職を目指す・車体整備士資格取得を目指す・板金塗装の基礎技術取得を目・就職活動において活用できる一	指す	目指す						
評価評価		・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする ・期末試験等の成績評価を100点								
	教材	車体整備・補助プリント								
授業を		前回の内容の復習								
学期	ターム	項目		内容-準備資料等						
	1	国家試験対策		車体整備士国家	は験の対策問題	実施				
	2	国家試験対策		車体整備士国家	は験の対策問題	実施				
	3									
	4									
	5									
	6									
授 業	7									
計画	8									
_	9									
後 期	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上(10									